

## お客様 各位

株式会社シビルソフト開発

### バージョンアップについてのお知らせ

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり 2003 年 12 月に『下水道推進工法の指針と解説 2003 年版』が出版され、それに対応した「推進工法」および「小口径推進システム」をリリース致しましてお使い頂いておりますが、今回新しい管種の追加や小口径推進の高耐荷力方式の計算において、修正式（泥水式）と修正式（土圧式）での計算が可能になり、「ライナープレート立坑の計算」においては、多層での計算対応やライナープレート設計・施工マニュアル」（コルゲート・ライナー技術協会）の基準に対応いたしました。

さらに、「Civil Rapid」「Pipe Rapid」「Rapid Draw」「Rapid Draw Plus」では、新たに「Rapid シリーズ」として、OCF 検定の認証を受けてまいります。これにより、一貫したソフトウェアの管理が可能になることによりデータの管理も容易になります。VerUp 内容についても、電子納品に対応して、作図中のチェック機能を充実されるなど CALS/EC への対応も十分加味されておりますので、是非最新のバージョンでのご使用を頂きますようお願い致します。

また、平成 16 年度より保守サービスを開始しており、平成 17 年度も引き続き行っていくしますので、併せてのご検討を頂きますようお願いいたします。

今後とも、Civil Plaza アプリケーションソフトウェア及び弊社へのご愛顧を宜しくお願い致します。

敬具

### 記

#### 1. バージョンアップソフトおよびリリース予定日

|                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 「Civil Rapid ver5.0」     | 平成 17 年 3 月 25 日 |
| 「Pipe Rapid ver5.0」      | 平成 17 年 3 月 25 日 |
| 「Rapid Draw ver5.0」      | 平成 17 年 3 月 25 日 |
| 「Rapid Draw Plus ver5.0」 | 平成 17 年 3 月 25 日 |
| 「推進工法 ver3.1」            | 平成 17 年 3 月 15 日 |
| 「小口径推進システム ver3.1」       | 平成 17 年 3 月 15 日 |
| 「ライナープレート立坑の計算 ver3.0」   | 平成 17 年 3 月 15 日 |

\* オプションのあるアプリケーションでは、アプリケーションとオプションは同じバージョンであることが必要です。異なるバージョンでのオプションの追加などは出来ません。

\* Rapid Draw は、今後「Rapid Draw」「Rapid DrawPlus」として、バージョンを上げて行きます。

\* 「CivilRapid ver4.0」「PipeRapid ver4.0」「RapidDraw2003・RapidDraw2003Plus」「ライナー ver2.0」「推進 ver3.0」への Verup の受付けは、2 月末をもって終了致します。

\* 商品の発送はリリース後にご注文順に発送させていただきますが、通常よりお時間が掛かる場合がございますので、予めご了承願います。

## 2.バージョンアップ価格

### <バージョンアップ CivilRapid ver5.0>

「CivilRapid ver3.0/4.0 ver5.0」 50,000円(税込52,500円)

\* 「CivilRapid ver1.1 および ver2.0」からについては、VerUp 対象外となっておりますので、お近くの営業所までお問い合わせ願います。

### <バージョンアップ RapidDraw ver5.0>

「RapidDraw21/2003 RapidDraw ver5.0」 25,000円(税込26,250円)

\* 「RapidDraw2000」からについては、VerUp 対象外となっておりますので、お近くの営業所までお問い合わせ願います。

### <バージョンアップ RapidDrawPlus ver5.0>

「RapidDraw21/2003Plus RapidDrawPlus ver5.0」 35,000円(税込36,750円)

\* 「RapidDraw2000」からについては、VerUp 対象外となっておりますので、お近くの営業所までお問い合わせ願います。

### <バージョンアップ PipeRapid ver5.0>

「PipeRapid ver3.0/4.0(汚水) ver5.0」 50,000円(税込52,500円)

「PipeRapid ver3.0/4.0(雨水) ver5.0」 60,000円(税込63,000円)

「PipeRapid ver3.0/4.0(汚水+雨水) ver5.0」 110,000円(税込115,500円)

「PipeRapid ver3.0/4.0(汚水+平面) ver5.0」 80,000円(税込84,000円)

「PipeRapid ver3.0/4.0(雨水+平面) ver5.0」 90,000円(税込94,500円)

「PipeRapid ver3.0/4.0(汚+雨+平) ver5.0」 130,000円(税込136,500円)

\* 「PipeRapid ver1.0 および ver2.0」からについては、VerUp 対象外となっておりますので、お近くの営業所までお問い合わせ願います。

### <バージョンアップ 推進工法(SI 単位版)/小口径推進システム(SI 単位版) ver3.1>

「推進工法 ver1.0 ver3.1」 160,000円(税込168,000円)

「推進工法 ver2.0 ver3.1」 110,000円(税込115,500円)

「推進工法 ver3.0 ver3.1」 30,000円(税込31,500円)

「小口径推進システム ver3.0 ver3.1」 30,000円(税込31,500円)

\* 「推進工法 従来単位版」からについては、VerUp 対象外となっておりますので、お近くの営業所までお問い合わせ願います。

### <バージョンアップ ライナープレート立坑の計算(SI 単位版)ver3.0>

「ライナープレート立坑の計算 ver1.0 ver3.0」 45,000円(税込47,250円)

「ライナープレート立坑の計算 ver2.0 ver3.0」 30,000円(税込31,500円)

\* 「ライナープレート立坑の計算 従来単位版」からについては、VerUp 対象外となっておりますので、お近くの営業所までお問い合わせ願います。

### <注意>

- ・上記のソフトを平成 16 年 12 月以降に、新規にご購入頂いた場合は無償(VerUp は対象外)にてバージョンアップとさせていただきます。(出荷方法については、後日ご案内致します)
- ・対象アプリケーションの保守サービスに平成 16 年 12 月までにご加入のお客様につきましては無償にてバージョンアップさせていただきます。(出荷方法については、後日ご案内致します)
- ・NetManage でご使用の場合は、別途更新料 10,000 円(税込 10,500 円)が必要になります。  
(但し、NetManage 保守サービス加入の場合には無償)

### <USB プロテクトへの交換費用>

- ・プリンタタイプのプロテクトから USB タイプのプロテクトに交換が出来ます。

交換費用 15,000 円(税込 15,750 円)

但し、交換するソフトの保守サービスに加入している場合には 10,000 円(税込 10,500 円)

### 3.機能アップ内容

\*機能アップ内容は2005年1月末現在の内容です。リリースまでは改良のために予告無しに機能追加や仕様変更する場合がありますので、予めご了承下さいませようお願いいたします。

## Civil Rapid ver5.0/Rapid Draw ver5.0/Rapid Draw Plus ver5.0

従来のバージョンにおいて、ご要望頂いた機能の追加や改善点や新しい製図基準のレイヤテンプレートの対応や作図図面のチェック機能の充実などを図りました。

### 機能アップ内容

- ・印刷プレビューの背景色を[変換設定]のスタイル毎に設定。
- ・部分印刷での範囲指定で点の検出を可能。
- ・DWG出力でDXFのR13、R14、2000形式で出力。
- ・s f c、p21、d x f、d w g、j w c、f i g形式のファイルの複数の図面データを一括入力可能な[ファイル一括入力]コマンドの追加。
- ・現在作業中の図面を一括でs f c、p21、d x fまたはd w g形式のファイルに出力可能な[ファイル一括出力]コマンドの追加。
- ・指定したファイル形式の図面データファイルを、他のファイル形式の図面データファイルに一括変換可能な[ファイル一括変換]コマンドの追加。(PipeRapidにはこの機能は搭載されません)
  - 1) d o b形式のファイルをs f c、p21、d x f、d w g形式のファイルに変換。
  - 2) s f c形式のファイルをd o b、p21形式のファイルに変換。
  - 3) p21形式のファイルをd o b、s f c形式のファイルに変換。
  - 4) d x f、d w g、j w c、f i g形式のファイルをd o b形式のファイルに変換。
- ・製図基準の責任主体の処理の変更。
  - 1) 責任主体を取除いたレイヤ名により同一レイヤ名を判断。
- ・[製図基準レイヤ名変更]コマンドで、変更されたレイヤのみの責任主体を変更する機能の追加。
- ・図面内存在する要素の最大矩形範囲を表示する[全体表示]割込みコマンドの追加。(表示モードには未対応)
- ・矢印キーにより移動表示。
- ・点検出時の検出点タイプのツールチップの表示。
- ・[座標]ツールバーに表示する座標値を検出点の座標を表示。
- ・ラスト要素の回転時での表示で余白部分の非表示化。
- ・[コピー]コマンドにファイル保存機能を追加し、J P E G、G I F、T I F F、P N Gファイル形式に対応。
- ・[ラスター入力]コマンドにG I F、P N Gファイル形式に対応。
- ・[ページ属性編集]コマンドによりページ単位でレイヤの[編集]、[表示]、[凍結]を設定可能。
- ・文字要素単体の文字列、フォント、配置点タイプ、角度を変更可能な[単独文字変更]コマンドの追加。
- ・[A-2 E W形]、[A-2 E N W形]、[A-6 E W形]、[A-6 E N W形]、[V P]、[V M]管の追加。また、追加に伴う構造図コマンドの変更。
- ・他のファイル形式の図面ファイル入力時に、読み込みを行ったファイル名を図面(d o b ドキュメント)のファイル名に自動設定。
- ・製図基準レイヤテンプレートに国土交通省CAD製図基準(案)平成16年6月版に対応

\*上記のVerUp内容については、画面を含めた詳細な内容が記述されているものを別途作成しておりますので、出来次第ご案内致します。

従来のバージョンにおいて、ご要望頂いた機能の追加や改善点や作図図面のチェック機能の充実などを図りました。

### 機能アップ内容

- ・ Civil Rapid Ver5.0 の機能を追加。(一部対応しない機能あり)
- ・ 平面図、縦断図の数値を半角で作図可能。
- ・ 路線データ内に鞘管情報を追加。また、平面図に鞘管を作図可能。
- ・ 平面図に埋設管要素を作図する場合、注釈線による形状を表記する[注釈表記]タイプの要素を追加。
- ・ 路線要素の路線番号、区間形状をどの位置にも配置可能。
- ・ 路線要素、取付管要素の各注記(路線番号、人孔番号、区間形状、柵番号等)を個々に引出線タイプにより表記可能。
- ・ 平面コマンドに人孔番号を一括変更する機能を[路線番号編集]コマンドに追加。
- ・ 平面コマンドに柵番号を一括変更する機能を[取付管番号編集]コマンドに追加。
- ・ 平面コマンドの[面積計算]コマンドで、流域、用途区域が存在しなくても計算が可能。この場合、区分0の面積に自動設定。
- ・ 平面コマンドに人孔オフセット、スパンオフセットを作図する機能を[本管寸法]コマンドに追加。
- ・ [人孔データの設定]で[副管を設置しない]の設定項目を追加。

\* 上記の VerUp 内容については、画面を含めた詳細な内容が記述されているものを別途作成しておりますので、出来次第ご案内致します。

## 推進工法 ver3.1

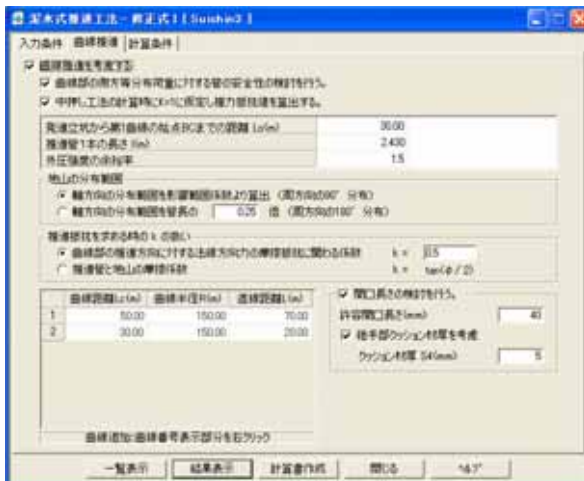
推進工法 ver3.0 では「下水道推進工法の指針と解説 - 2003年版 -」に対応し、アプリケーションを一新いたしました。このたびさらに機能を追加した推進工法 ver3.1 をリリースすることとなりました。



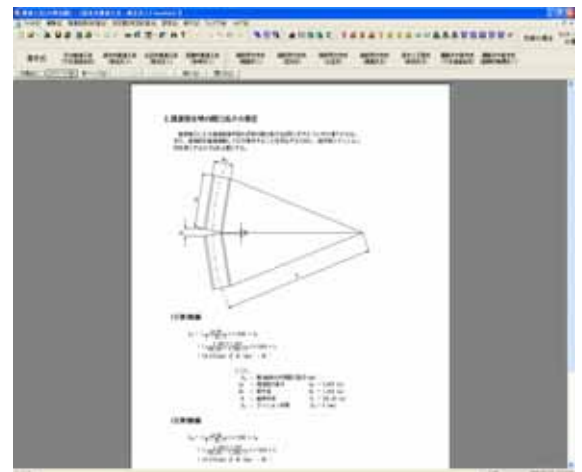
追加した計算の入力画面

### 機能アップ内容

- ・ 計算可能な管種に、以下の管種を追加しました。  
A2EW 型、A2ENW 型、A6EW 型、A6ENW 型
- ・ 高耐荷力方式の計算に、修正式（泥水式）と修正式（土圧式）の計算を追加しました。 **指針 P.526 の計算に対応**
- ・ 曲線推進における、開口長さの検討が可能になりました。



開口長さの検討の入力画面



開口長さ検討の出力例

# 小口径推進システム ver3.1

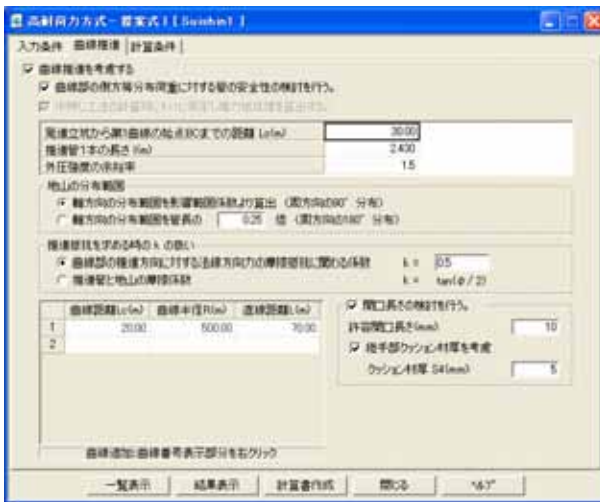
小口径推進システム ver3.0 では「下水道推進工法の指針と解説 - 2003年版 -」に対応し、アプリケーションを一刷新いたしました。このたびさらに機能を追加した推進工法 ver3.1 をリリースすることとなりました。



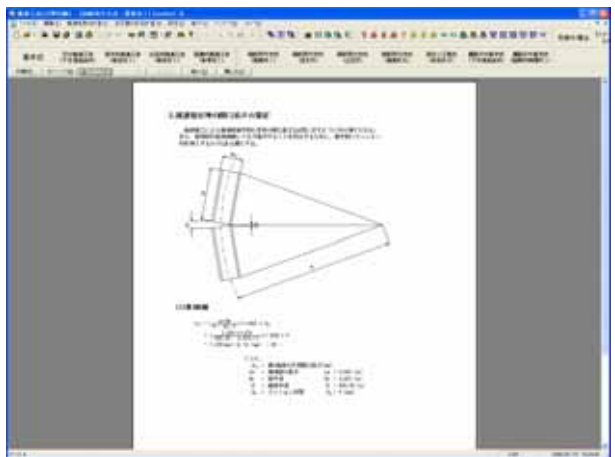
追加した計算の入力画面

## 機能アップ内容

- ・ 計算可能な管種に、以下の管種を追加しました。  
A6EW 型、A6ENW 型
- ・ 高耐荷力方式の計算に、修正式（泥水式）と修正式（土圧式）の計算を追加しました。 **指針 P.526 の計算に対応**
- ・ 曲線推進における、開口長さの検討が可能になりました。



開口長さの計算の入力画面



開口長さ計算の出力例

# ライナープレート立坑の計算 ver3.0

「下水道推進工法の指針と解説 - 2003年版 -」の参考編～計算例～では、互層地盤に対応した「円形ライナープレート」の計算がされております。  
 今回のバージョンアップでは、互層地盤に対応できるようにするほか、「ライナープレート設計・施工マニュアル」(コルゲート・ライナー技術協会)の基準に対応し機能アップを図りました。



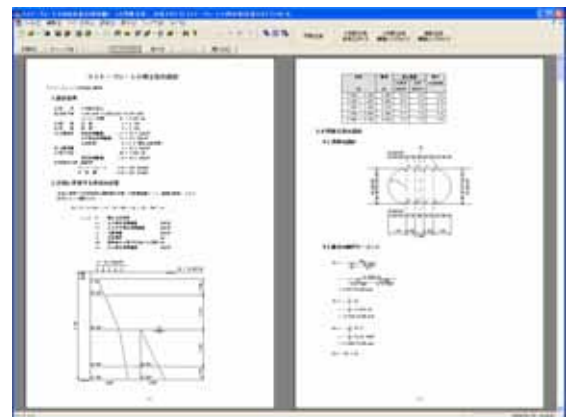
追加した計算の入力画面

## 主な機能アップ内容

- ・「ライナープレート設計施工マニュアル(コルゲート・ライナー技術協会)」の基準に対応。  
 小判形立坑(支保工タイプ・補強リングタイプ)、矩形立坑の計算において、ライナープレート応力度および補強リング応力度の検討で、細長比を考慮しての計算が可能となりました。  
 矩形立坑補強リング継手部の計算において、たわみ量の計算および継手位置の算定が可能となりました。
- ・互層地盤の計算において、土質データを複数層を入力および計算することが可能となりました。



矩形立坑の計算の入力画面



多層地盤での計算の出力例